

平成26年度第6回川崎区区民会議地域を育むまちづくり部会摘録

日 時：平成26年12月22日（月）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 8名

赤間靖夫、新井一成、岩瀬絹代、塚原晴美、戸村正房、深瀬欣之助  
 埜瀬晴美、原田歩

欠席 金岩勇夫

参与 0人

傍聴 1人

1 開会

事務局<寺尾委員長の急逝について、会議の成立、会議の公開、会議の事前公表、  
 会議録の摘録公表、摘録の確認、写真撮影を説明。傍聴の有無の確認。  
 配布資料の確認>

2 部会長あいさつ

戸村部会長<あいさつ>

3 議題

(1) 課題解決に向けた取組みの方向性について（資料1～5）

●防災手帳について

戸村部会長 参考資料1の前の議事録に基づき、議論を進めていきたいと思  
 います。まず、防災手帳について、前回までの部会や第2回全体会議で出た意見  
 を踏まえて議論していきたいと思ます。防災手帳のねらいは、事前に家族で  
 話し合うことだと思ますが、市がつくっている「備える。かわさき」とどう  
 差別化するかということもあるのではないのでしょうか。

原田委員 自分がつくった案は他市の例や「備える。かわさき」を踏まえ、家族  
 が話し合い、書き込んで作りあげることに重点を置いて作成しました。

先日の長野県の地震の時に、現地に知り合いがいたので、代わりに災害用  
 伝言ダイヤルに登録しようと思しましたが、指定エリア以外ではできませんでし  
 た。やってみないとわからないことがあります。災害用伝言ダイヤルは指定日

に試せるので、皆さんも試してみてもいいでしょうか。

戸村部会長 帰宅困難者のトライアルの時に試してみました。皆さんも試してみてもいいでしょうか。

新井委員 手帳は、コンパクトで見やすく、機能しやすいことが必要ではないでしょうか。

原田委員 手帳サイズや小学校などの連絡帳の大きさがいいと思います。

新井委員 記載項目については、何が重要かという優先順位を決めて表現した方がいいと思います。

赤間委員 名刺ホルダーの大きさで、手帳式のものがいいのではないのでしょうか。常にぶら下げられるようにする方がいいと思います。

深瀬委員 自分の戦災の時の経験から、持ち出しものは事前につくって置いておかないといざという時に持ち出せないと思います。

原田委員 川崎市はマイバックを配っていますが、その代わりに緊急時に持ち出せるリュックサックのようなものを配ってはどうでしょうか。

埜瀬委員 うちでは持ち出すものは防災ずきんといっしょに置いてあります。

原田委員 自分の作った案は家族会議を実施するための資料という位置づけです。

深瀬委員 私は、災害にあつたら、まずはどこでもいいので安全なところに行き、一段落したら指定の避難所に行くということを町会の皆さんに話しています。戦災の時には指定されたところには行かれませんでした。

岩瀬委員 家族防災会議を開くことが一番重要だと思います。また、消防士さんから持ち出しものは車に置いておくといいと聞きました。

とむらぶかいちょう こじんじょうほう けいさい てちょう お としき もんだい  
戸村部会長 個人情報に掲載されているので手帳を落とした時の問題があります。

ほらだいいん おとな てちょう けいたいでんわ こじんじょうほう けいさい けいたい  
原田委員 大人は手帳や携帯電話など個人情報の掲載しているものを携帯して  
いるので、落とすリスクをあまり心配しすぎなくてもいいのでは。

とむらぶかいちょう ぜんたいかいぎ がいこくじんしみん たいおう いけん で  
戸村部会長 全体会議で外国人市民にも対応してほしいという意見が出ていま  
した。それでは事務局で名刺サイズに編集してもらい、次回、また検討した  
いと思えます。

### ●防災マップについて

つぎ ぼうさいまっぷ ぎろん おも げんざい ぼうさいまっぷ ちいき  
次に、防災マップについて議論したいと思えます。現在の防災マップは地域  
ごとではなく情報量も多いことからわかりにくい面があります。

ほらだいいん ひがしおおしましやうがっこう へいせい ねん ちいきしんこうか やくいんなど  
原田委員 東大島小学校区では、平成8年に地域振興課といろいろな役員等が  
いっしょ ある ひがしおおしま まっぷ らみねーと  
一緒にまち歩きして、「東大島あんしんマップ」をつくり、ラミネートしたも  
のを全世帯に配りました。

とむらぶかいちょう とく おも ちいき あんぜんまっぷ まにゅある  
戸村部会長 よい取り組みだと思えます。地域の安全マップづくりマニュアルを  
作ることもいいのではないのでしょうか。

あらいいいん ちいき ぼうさいいしき たか ちょうかい ぼうさいぶ など はなし  
新井委員 地域で防災意識を高めるために、町会の防災部等に話をすることが  
必要になると思えます。

とむらぶかいちょう ひがしおおしま まっぷ れい じかいいこう けんとう おも  
戸村部会長 東大島あんしんマップを例に、次回以降、検討していきたいと思  
います。

### ●自主防災組織について

つぎ じしゅぼうさいそしき けんとう おも  
次に、自主防災組織について検討していきたいと思えます。まず、  
ききかんりたんとう せつめい  
危機管理担当から説明してもらいます。

ききかんりたんとう しりょう せつめい  
危機管理担当 <資料2 について説明>

とむらぶかいちょう ぼうさいくねん ほじょきん しんせいつ  
戸村部会長 防災訓練の補助金の申請率はどれくらいですか。

ききかんりたんとう 危機管理担当 20名以上の参加者が前提となっていますが、20名以上の訓練  
めいいじょう さんかしや ぜんてい 場合  
めいいじょう くんれん 訓練  
ばあい だんたい しんせい おも  
の場合はほとんどの団体が申請していると思います。

とむらぶかいちやう 自主防災組織はいざという時に機能するでしょうか。  
じしゅぼうさいそしき とき きのう

ききかんりたんとう 危機管理担当 ねっしん そしき じゅうぶん とりくみ すず  
熱心な組織と十分に取組が進んでいない組織あり、団体による  
おも  
と思います。

はらだいいん 原田委員 じぶん ちょうないかい やくいん とき そしき  
自分が町内会の役員だった時は組織をつくりましたが、現在は動い  
げんざい うご  
ていません。ねっしん ねっしん じしゅぼうさいそしき おも  
熱心な人がいれば自主防災組織はできると思います。

ききかんりたんとう 危機管理担当 にんい そしき ぎょうせいしゅどう た あ むずか じょうきやう  
任意の組織なので、行政主導で立ち上げるのは難しい状況で  
す。

つかほらいいん 塚原委員 しょうがっこう ちゅうがっこうくたんい がっこう ひなんじやうんえい たんとう ちょうないかい き  
小学校や中学校区単位で、学校の避難所運営を担当する町内会が決  
まっています。  
おも

はらだいいん 原田委員 ちゅうがっこうくたんい おお おも  
中学校区単位では大きすぎると思います。

いわせいいん 岩瀬委員 げんざい しょうがっこうくたんい おも  
現在は小学校区単位になっていると思います。

あらいいいん 新井委員 2～3年前は津波避難訓練に多くの方が参加していましたが、現在の  
ねんまえ つなみひなんくんれん おお ほう さんか げんざい  
訓練の参加人数は減っていると感じます。何回もやって意識を維持していく必要  
くんれん さんかにんずう へ かん なんかい いしき いじ ひつやう  
があるのではないのでしょうか。くみんかいぎ ぼうさいくんれん うなが  
区民会議で防災訓練を促すことができないで  
しょうか。

ふかせいいん 深瀬委員 がっこう ひなんじやうんえいま に ゆ ある ぎょうせい ねが き  
学校の避難所運営マニュアルはあって、行政からお願いが来ていま  
すが、ちょうないかい うご ばあい  
町内会が動かない場合があります。

はらだいいん 原田委員 がっこう ひなんじやうんえいそしき かいぎ ねん かい  
学校の避難所運営組織の会議を年1回でもやっっていけばいいのでは  
ないのでしょうか。

つかほらいいん 塚原委員 すでにやっています。

とむらぶかいちょう じしゅぼうさいそしき ちょうかい れんけい すいしん あん  
戸村部会長 自主防災組織については、町会と連携して推進する案をつくると  
いうことですね。

● 公園環境の整備について

つぎ こうえんかんきょう せいび ぎろん おも こ ゆめ  
次に、公園環境の整備について議論していきたいと思います。子ども夢  
パークの川崎区版を提言する、公園に防災機能を普及させる、公園の改善、公園  
利用マニュアル等があるかと思っています。

あかまいいん こうえんほう こ あそ きせい おも  
赤間委員 公園法によって子どもの遊びが規制されていると思います。

とむらぶかいちょう あそ きせい ゆめぼーく ひつよう おも  
戸村部会長 遊びが規制されていない夢パークのようなものが必要だと思いま  
す。区内の公園につくる場所はあるのではないのでしょうか。

はらだいいん うみかぜ もり きんしじこう  
原田委員 海風の森は禁止事項をつくっていません。  
ふじみこうえん りにゆーあるとき じもと き き  
富士見公園をリニューアルする時に、地元からくすの木を切ってほしいとい  
う意見が出ました。このように地元からの意見で禁止事項が多くなっているの  
ではないのでしょうか。

とむらぶかいちょう たく とりくみ せつめい ねが  
戸村部会長 他区の取組があるようなので、説明をお願いします。

じむきょく しりょう せつめい  
事務局 <資料3について説明>

あらいいいん みやまえく れい ゆめぼーく てんかい  
新井委員 宮前区の例は夢パークを展開したものでですか。

じむきょく とく かんれん  
事務局 特に関連しているわけではありません。

あらいいいん しゅし おな おも ふじみこうえん  
新井委員 主旨は同じだと思っています。富士見公園でもできるのではないでしょ  
か。管理はしないとイケないと思います。

いわせいいん きょう ふじみこうえん さと み い  
岩瀬委員 今日、富士見公園のはぐくみの里を見に行きました。このようなとこ  
ろを有効に活用してはどうでしょうか。  
ぼーるあそ きんし ぼーるあそ ぜんぶだめ  
ボール遊びを禁止しているところでもボール遊びが全部ダメということ  
ではないようです。

また、楽しい遊具ができるといいと思います。

戸村部会長 それでは、プレーパークや夢パークのような子どもが遊べる公園の実現に向けて検討していきたいと思います。

## ●交通安全について

最後に、交通安全について、マナーの指導や盗難対策について検討していきたいと思います。自転車事故は交差点が多いということなので、反射鏡が有効ではないでしょうか。

岩瀬委員 スタントマンを使った自転車安全教室（スクアードストレイト）がやれるといいのではないのでしょうか。

深瀬委員 警察が主催で半年に1回ぐらいやっています。

事務局 川崎区では年3回開催しました。＜資料4について説明＞

戸村部会長 自転車事故が減っていないのはなぜですか。一般的には人と車の事故ですが、我々が取り扱うのは人と自転車の関係だと思えます。マナーについてはこれだけやっているのに新鮮味がないと思えますがどうでしょうか。

原田委員 若いお母さんたちは自転車に子どもを乗せているのに信号で止まらない等、マナーがよくないと思えます。

赤間委員 大型車との関係や交差点が事故の原因だと思えます。

新井委員 交通安全教室は学校や子ども会で既にやっています。エコについては、エコ運転のステッカーを貼っていますが、交通安全についても、安全運転のステッカーを付けてもらい、意識付けを図るといった取り組みが必要ではないでしょうか。

戸村部会長 有効かと思えます。盗難についてもステッカーをつくることで意識付けができるのではないのでしょうか。

原田委員 川崎区内は40%が自転車で自転車に關わる事故となっています。自転車事故防止についてのジャケットをつくって、町内会の人たちに配って着てもらってはどうか。

### ●まとめ

戸村部会長 防災手帳については手帳サイズにして検討してみる、マップは各町会で作るようなマップを検討する、自主防災組織については町会と連携して促進する、子どもの遊び場づくりはプレーパークの実現や規制ボードではなく利用マップにする、交通安全はステッカーの作成などがあるのではないだろうか。  
次回、整理しますが、方向性としてはこのようなことで進めていきたいと思ひます。

### (2) 平成26年度区民会議フォーラム(案)について

戸村部会長 区民会議フォーラムについて事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料6について説明>

### (3) 審議スケジュールについて

戸村部会長 審議スケジュールについて事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料7、参考資料2について説明>

## 4 その他

朴委員 <教育会議の講習会(スマートフォンアプリLINEについて)についての報告等>

午後8時30分開会

(以上)





平成26年度第6回川崎区区民会議

だれもがいきいき暮らす部会摘録

日時：平成26年12月19日（金）午後6時30分

場所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 5名

新井トキ子、石渡勝朗、知念ジョアンナ、原千代子、畑敏雄

欠席 荒巻裕子、中村紀美子、朴昌浩、森脇卓郎、山田義孝

参与 0人

傍聴 1人

1 開会

事務局＜会議の成立、会議の公開、会議の事前公表、会議録の摘録公表、摘録の確認、写真撮影を説明。傍聴の有無の確認。配布資料の確認＞

2 部会長あいさつ

3 議題

(1) 課題解決に向けた取組みの方向性について（資料1～4）

事務局＜資料1～4、参考資料1～3について説明＞

原部会長 本日は各審議テーマについて、課題をふまえながら、どのような取組みを行っていくかを議論したいと思います。

まず審議テーマ1「地域における見守り活動の充実」について、今まで出たご意見としては、各団体で実施している高齢者や子ども、障害者などを見守る活動の実態調査と各団体の連携の検討というものがありません。本日は具体的な内容を詰めていきたいと思います。何かご意見はどうでしょうか。

畑委員 活動事例については資料2に表でまとまっているので、これで大体網羅されていると思えます。

一つ考えられるのは、訪問型や見守り型ではなく、本人が自己認識して、積極的に外に出ていくお出かけ型です。受け身ではなく、本人たちが意識して「見守られる」ことが重要だと思えます。

原部長 畑委員や山田委員は見守りに関する様々な活動をされていると思いますが、調査の具体的なイメージはありますか。

畑委員 社会福祉協議会では様々なことをやっていて、例えば、子育て支援グループの関係団体の活動の状況調査だったり、ボランティアセンターの方でも様々な調査をやったりしています。市の地域包括ケア推進室でも様々なデータは揃っていると思います。

石渡委員 区民会議の部会としては、そろそろ一定の具体的な目処をつけていかないといけないので、ただ議論していても埒が明かないのではないかと思います。ある程度の成果を出さなければいけないと思います。それをふまえて考えると、とにかく実態調査をやりましょうということなので、どんな調査をして何を明らかにするのかを具体的に考えないといけないし、調査する対象をどのような団体に絞っていくのかを考えなくてはならないと思います。

新井委員 民生委員でも見守り活動をやっていて、9月から12月まで調査活動を現在行っています。調査の内容としては、ひとり暮らしであるか、高齢者世帯であるかという区分けを行い、ひとり暮らしの場合は、本人に何かあった場合の連絡先を聞いたり、本人の健康状態がどうかということを聞いたり、民生委員から見てもどうかといった情報などを調査しています。基本的には75歳以上を基準に、見守りが必要か否かを見極めるための調査です。

また、老人会の方でも見守りを行っているが、活動の連携が取れていないので、繋がりが無い状況です。それでは勿体無いと思うので、民生委員や町内会と連携できればと考えています。

畑委員 形としては、対象としては見守り活動を実施している団体の調査であるから、調査の方法としては郵送のアンケート方式で行うか、出向いてヒアリングを行うかということになると思います。また、団体の選定であるが、その団体がどういった範囲で活動しているのかも大きな焦点になります。町内会単位なのか、区全体なのか、区外もやっているのかなどエリアが重要になってきます。調査の内容としては、活動の名称は基本として、見守りの対象はどういった方々か、どういった活動をしているのか、見守る側の方々は、どういった方々か、財源は何かなどがあると思います。また、どの程度詳細に聞

くのかも <sup>かんが</sup>考えなければいけません。 <sup>こま</sup>細かく <sup>き</sup>聞きすぎても <sup>しゅうしゅう</sup>回収 <sup>おも</sup>がつかなくなると <sup>おも</sup>思うので、 <sup>ぐたいてき</sup>どこまで <sup>き</sup>具体的に <sup>おも</sup>聞くか <sup>おも</sup>だと思ひます。

<sup>いしわたいいん</sup>石渡委員 <sup>すこ</sup>やはり <sup>ろんてんせいり</sup>ここで <sup>おも</sup>少し <sup>く</sup>論点 <sup>おも</sup>整理 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>しない <sup>おも</sup>とい <sup>おも</sup>けない <sup>おも</sup>と思ひます。 <sup>く</sup>まず、 <sup>く</sup>区 <sup>おも</sup>民 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>議 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>主 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>とな <sup>おも</sup>って <sup>おも</sup>実 <sup>おも</sup>態 <sup>おも</sup>調 <sup>おも</sup>査 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>する <sup>おも</sup>とい <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>こと <sup>おも</sup>です。 <sup>おも</sup>様 <sup>おも</sup>々 <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>団 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>ぞ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>調 <sup>おも</sup>査 <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>ど <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>行 <sup>おも</sup>っ <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>て、 <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>参 <sup>おも</sup>考 <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>べ <sup>おも</sup>き <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>が、 <sup>おも</sup>あく <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>参 <sup>おも</sup>考 <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>ぎ <sup>おも</sup>ず、 <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>民 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>議 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ン <sup>おも</sup>ケ <sup>おも</sup>ー <sup>おも</sup>ト <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>作 <sup>おも</sup>成 <sup>おも</sup>し、 <sup>おも</sup>調 <sup>おも</sup>査 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>実 <sup>おも</sup>施 <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>とい <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>こと <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>基 <sup>おも</sup>本 <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>り <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す。 <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>た、 <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>全 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>調 <sup>おも</sup>査 <sup>おも</sup>対 <sup>おも</sup>象 <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>か、 <sup>おも</sup>あ <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>地 <sup>おも</sup>域 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>絞 <sup>おも</sup>っ <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>モ <sup>おも</sup>デ <sup>おも</sup>ル <sup>おも</sup>的 <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>調 <sup>おも</sup>査 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>ど <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>考 <sup>おも</sup>え <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>べ <sup>おも</sup>き <sup>おも</sup>だ <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>思 <sup>おも</sup>ひ <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す。

<sup>おも</sup>さらに、 <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ン <sup>おも</sup>ケ <sup>おも</sup>ー <sup>おも</sup>ト <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>内 <sup>おも</sup>容 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>ど <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>が、 <sup>おも</sup>私 <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>ん <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>細 <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>く <sup>おも</sup>聞 <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>く <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>良 <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>思 <sup>おも</sup>ひ <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す。 <sup>おも</sup>活 <sup>おも</sup>動 <sup>おも</sup>内 <sup>おも</sup>容 <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>ち <sup>おも</sup>ろ <sup>おも</sup>ん <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>が、 <sup>おも</sup>「 <sup>おも</sup>活 <sup>おも</sup>動 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>中 <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>問 <sup>おも</sup>題 <sup>おも</sup>点 <sup>おも</sup>、 <sup>おも</sup>課 <sup>おも</sup>題 <sup>おも</sup>点 <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>あ <sup>おも</sup>り <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>」 <sup>おも</sup>「 <sup>おも</sup>活 <sup>おも</sup>動 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>良 <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>所 <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>あ <sup>おも</sup>り <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>」 <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>っ <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>こと <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>聞 <sup>おも</sup>け <sup>おも</sup>ば <sup>おも</sup>良 <sup>おも</sup>く <sup>おも</sup>て、 <sup>おも</sup>ひ <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>ず <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>民 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>議 <sup>おも</sup>名 <sup>おも</sup>義 <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ン <sup>おも</sup>ケ <sup>おも</sup>ー <sup>おも</sup>ト <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>行 <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>こと <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>大 <sup>おも</sup>切 <sup>おも</sup>だ <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>思 <sup>おも</sup>ひ <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す。 <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>め、 <sup>おも</sup>当 <sup>おも</sup>面 <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>は、 <sup>おも</sup>地 <sup>おも</sup>域 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>範 <sup>おも</sup>圍 <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>具 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>的 <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>団 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>ピ <sup>おも</sup>ッ <sup>おも</sup>ク <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ッ <sup>おも</sup>プ <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>行 <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>作 <sup>おも</sup>業 <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>り <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す。

<sup>おも</sup>原 <sup>おも</sup>部 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>長 <sup>おも</sup> <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>民 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>議 <sup>おも</sup>名 <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ン <sup>おも</sup>ケ <sup>おも</sup>ー <sup>おも</sup>ト <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>行 <sup>おも</sup>っ <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>場 <sup>おも</sup>合 <sup>おも</sup>、 <sup>おも</sup>回 <sup>おも</sup>収 <sup>おも</sup>や <sup>おも</sup>集 <sup>おも</sup>計 <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>ど <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>よ <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>ょう <sup>おも</sup>か。

<sup>いしわたいいん</sup>石渡委員 <sup>おも</sup>回 <sup>おも</sup>答 <sup>おも</sup>方 <sup>おも</sup>法 <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>考 <sup>おも</sup>え <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>く <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>け <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>せ <sup>おも</sup>ん <sup>おも</sup>が、 <sup>おも</sup>前 <sup>おも</sup>期 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>き <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ン <sup>おも</sup>ケ <sup>おも</sup>ー <sup>おも</sup>ト <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>や <sup>おも</sup>っ <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>て、 <sup>おも</sup>学 <sup>おも</sup>校 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>通 <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ン <sup>おも</sup>ケ <sup>おも</sup>ー <sup>おも</sup>ト <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>配 <sup>おも</sup>布 <sup>おも</sup>し、 <sup>おも</sup>窓 <sup>おも</sup>口 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>指 <sup>おも</sup>定 <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>返 <sup>おも</sup>答 <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>ら <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>た。

<sup>おも</sup>原 <sup>おも</sup>部 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>長 <sup>おも</sup> <sup>おも</sup>学 <sup>おも</sup>校 <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>お <sup>おも</sup>願 <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>時 <sup>おも</sup>も、 <sup>おも</sup>行 <sup>おも</sup>政 <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>ら <sup>おも</sup>お <sup>おも</sup>願 <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>ら <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>た。

<sup>おも</sup>畑 <sup>おも</sup>委 <sup>おも</sup>員 <sup>おも</sup> <sup>おも</sup>信 <sup>おも</sup>用 <sup>おも</sup>性 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>上 <sup>おも</sup>げ <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>め <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>は、 <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>民 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>議 <sup>おも</sup>名 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>使 <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>つ <sup>おも</sup>つ、 <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>名 <sup>おも</sup>前 <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>使 <sup>おも</sup>わ <sup>おも</sup>せ <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>ら <sup>おも</sup>っ <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>実 <sup>おも</sup>施 <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>方 <sup>おも</sup>が、 <sup>おも</sup>回 <sup>おも</sup>答 <sup>おも</sup>率 <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>高 <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>思 <sup>おも</sup>ひ <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す。

<sup>いしわたいいん</sup>石渡委員 <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>り <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>団 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>所 <sup>おも</sup>在 <sup>おも</sup>地 <sup>おも</sup>や <sup>おも</sup>事 <sup>おも</sup>務 <sup>おも</sup>局 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>分 <sup>おも</sup>か <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>で、 <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>こ <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>郵 <sup>おも</sup>送 <sup>おも</sup>し、 <sup>おも</sup>返 <sup>おも</sup>答 <sup>おも</sup>先 <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て、 <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>民 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>議 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>事 <sup>おも</sup>務 <sup>おも</sup>局 <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>形 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>区 <sup>おも</sup>役 <sup>おも</sup>所 <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>ば <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>と <sup>おも</sup>思 <sup>おも</sup>ひ <sup>おも</sup>ま <sup>おも</sup>す。

<sup>おも</sup>原 <sup>おも</sup>部 <sup>おも</sup>会 <sup>おも</sup>長 <sup>おも</sup> <sup>おも</sup>様 <sup>おも</sup>々 <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>団 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>色 <sup>おも</sup>々 <sup>おも</sup>な <sup>おも</sup>活 <sup>おも</sup>動 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>て、 <sup>おも</sup>さ <sup>おも</sup>ら <sup>おも</sup>に <sup>おも</sup>は <sup>おも</sup>横 <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>繋 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>り <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>無 <sup>おも</sup>く、 <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>ぞ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>団 <sup>おも</sup>体 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>そ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>ぞ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>で <sup>おも</sup>活 <sup>おも</sup>動 <sup>おも</sup>し <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>い <sup>おも</sup>る <sup>おも</sup>とい <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>課 <sup>おも</sup>題 <sup>おも</sup>も <sup>おも</sup>見 <sup>おも</sup>え <sup>おも</sup>て <sup>おも</sup>き <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>の <sup>おも</sup>で、 <sup>おも</sup>ア <sup>おも</sup>ン <sup>おも</sup>ケ <sup>おも</sup>ー <sup>おも</sup>ト <sup>おも</sup>調 <sup>おも</sup>査 <sup>おも</sup>を <sup>おも</sup>実 <sup>おも</sup>施 <sup>おも</sup>す <sup>おも</sup>場 <sup>おも</sup>合、 <sup>おも</sup>先 <sup>おも</sup>程 <sup>おも</sup>石 <sup>おも</sup>渡 <sup>おも</sup>委 <sup>おも</sup>員 <sup>おも</sup>が <sup>おも</sup>言 <sup>おも</sup>わ <sup>おも</sup>れ <sup>おも</sup>た <sup>おも</sup>よ <sup>おも</sup>う <sup>おも</sup>に、 <sup>おも</sup>モ <sup>おも</sup>デ <sup>おも</sup>ル <sup>おも</sup>的 <sup>おも</sup>に

ある地域ちいきに絞しばって実施じっししてみることが良いよと思おもいました。

畑委員はたいいん 例たとえば、同おなじ見守みまもり活動かつどうでも、民生委員みんせいいんと老人クラブろうじんくらぶのやっやっていること  
が違ちがっている場合ばあいもあります。民生委員みんせいいんよりよりも老人クラブろうじんくらぶの方が、歴史れきしが古ふるく、  
草むしりくさから通院つういんの移送いそうまで、幅広はばひろく活動かつどうしています。モデルも的に地域ちいきを絞しばる  
といいっても、活動かつどうの内容ないようが異ことなるので、選定せんていは難むずかしいかもしれませせん。

新井委員あらいいいん 民生委員みんせいいんは、赤あかちゃんから高齡者こうれいしゃまでの見守みまもりを行おこなっているのはば  
が広ひろく、その分ぶん活動かつどうも様々さまざまです。今こん回の調査ちようさも3年ねんに1回かいのもので、たまたま  
今ことし年にやっやっているといいう状じよう況きようです。  
区民会議くみんかいぎで調査ちようさをすするとなると、どういいった調査ちようさが適切てきせつなのなかとも悩なやまし  
いと思おもいます。

知念委員ちねんいん 情報じようほうを集あつめて、様々さまざまな団体だんたいの連携れんけいがカギかぎになると思おもいます。

畑委員はたいいん 調査ちようさだけしても意い味みが無ないので、アンケートあんけーとのあと、盛さかんに活動かつどうをして  
いる団体だんたいに焦しやうてん点を当あてて、深堀ふかぼりして見るなどしていく必要ひつようがあると思おもいま  
す。また、このアンケートあんけーとの結果けつかをししっかり各団体かくだんたいに公こう表ひようして、情報じようほうの共有きようゆう  
などを図はかり、お互たがいの団体だんたいの刺激しげきになれば良よいと思おもいます。

知念委員ちねんいん 各団体かくだんたいがどれだけ連携れんけいしああっているかを知しることも大たい切せつだと思おもいま  
す。どれだけ活動かつどうがオおーバーラらップぷでききているか、そういいった部分ぶぶんも  
アンケートあんけーとで知しりたいです。

石渡委員いしわたいいん それぞれれの活動かつどうをアンケートあんけーとで調しらべて、その結果けつかを基もとに、我々われわれも認にん識しき  
を深ふかめると同どう時に、各団体かくだんたいがお互たがいに連携れんけいして、ネットワねーとークくが構こう築ちくされて、  
協き議ぎ会かいのよような会かいを設せつりつして、お互たがいがお互たがいを刺しげき激きしああうといいうイメいーじジじが  
良よいと思おもいます。つつままり、アンケートあんけーと調ち査さ後ごに何なにをすすれば良よいのかといいうと、  
情じ報ほう交こう換かん会かいを開かい催さいして、お互たがいの活かつ動どうを理り解かいして連携れんけいしていくことことが考かんえら  
れれます。それが区民会議くみんかいぎの目もく標ひようであると思おもいます。

新井委員あらいいいん 今こん後ご、団塊だんかいの世せい代だいがリタイアりたいあし始はじじめ、要支ようしえん援えん1いちや要支ようしえん援えん2になどは、こ  
れから各かく地ち域いきで見みて下くださいといいう方ほう向こう性せいになっなってききていまます。区民会議くみんかいぎ  
ここれを調ち査さして、各団体かくだんたいの連携れんけいをはからりかかいいていいく段階だんかいをはなああげげていいく場ばが設もうけ

られれば、<sup>ちいき</sup>地域でどのように見守<sup>みまも</sup>っていけばいいのかという<sup>ほうしん</sup>方針ができれば  
非常に<sup>ひじょう</sup>良い<sup>よ</sup>気がします。<sup>ちようかい</sup>町会がなかなか<sup>かいにゆう</sup>介入してこない<sup>めん もんだい</sup>面が問題でもありま  
すが、<sup>ちようかい</sup>町会が動いてくれることが<sup>もつと</sup>最も<sup>かくだんたい</sup>各団体にしても<sup>かつどう</sup>活動しやすくなり、  
<sup>じょうほう</sup>情報も<sup>おも</sup>まとまりやすくなると思います。

<sup>いしわたいいん</sup>石渡委員 <sup>おも</sup>そのとおりだ<sup>ちようかい</sup>と思います。<sup>しゅびはんい</sup>町会は<sup>ひろ</sup>守備範囲が広いので、<sup>まえむ</sup>前向きな<sup>しせい</sup>姿勢  
になってくれると<sup>ひじょう</sup>非常に<sup>ちからづよ</sup>力強い<sup>みかた</sup>味方になると<sup>おも</sup>思います。そういった<sup>い</sup>意味では、  
<sup>ちようかい</sup>町会を<sup>ま</sup>巻き込むことが<sup>こ</sup>大切なので、<sup>たいせつ</sup>アンケートの<sup>あんけーと</sup>調査対象から<sup>はず</sup>外せないと思  
います。

<sup>はた いいん</sup>畑委員 <sup>かわさきく</sup>川崎区には<sup>だいぎぎょう</sup>大企業が<sup>おお</sup>多くあり、<sup>とうきょうでんりよく</sup>東京電力や<sup>とうきょう</sup>東京ガスなどは<sup>ちいき</sup>地域  
<sup>さーびす</sup>サービス課という<sup>ぶしよ</sup>部署をつくっており、<sup>ちいき</sup>地域に対して<sup>なに</sup>何かしらの<sup>さーびす</sup>サービスを  
<sup>ていきよう</sup>提供している<sup>きぎょう</sup>ので、<sup>れんけい</sup>そういった<sup>かんが</sup>企業と<sup>かんが</sup>連携して<sup>かんが</sup>やっていくことも<sup>かんが</sup>考えられる  
と思います。<sup>おも</sup>現実に<sup>げんじつ</sup>今、<sup>いま</sup>町内会<sup>ちようないかい</sup>などで<sup>び</sup>美化活動<sup>かかつどう</sup>をする<sup>きぎょう</sup>ときには<sup>てつだ</sup>企業も<sup>てつだ</sup>手伝っ  
てくれるし、<sup>ちいき</sup>地域の<sup>うんどうかい</sup>運動会を<sup>ちようないかい</sup>町内会と<sup>きぎょう</sup>企業で<sup>ちいき</sup>やっている<sup>ちいき</sup>地域も  
あります。また、<sup>きぎょう</sup>企業の<sup>しゃいん</sup>社員と<sup>ちようないかい</sup>町内会などで<sup>いっぽくりよう</sup>一泊旅行<sup>おこな</sup>を行っている<sup>おこな</sup>ところも  
あります。そ  
ういった<sup>ちいき</sup>地域は、<sup>ちようないかい</sup>町内会が<sup>せつきよくてき</sup>積極的に<sup>きぎょう</sup>企業に<sup>はたら</sup>働きかけ<sup>れんけい</sup>をして、<sup>きばん</sup>連携の<sup>きばん</sup>基盤を  
つくっています。その<sup>しや</sup>ような<sup>おも</sup>ことも<sup>おも</sup>視野にいれながら、<sup>おも</sup>できればいい<sup>おも</sup>なと思  
います。

<sup>あらいいいん</sup>新井委員 <sup>きぎょう</sup>企業は<sup>ちいき</sup>地域に<sup>めいわく</sup>迷惑を<sup>いしき</sup>かけているという<sup>も</sup>意識<sup>おも</sup>を持つ<sup>おも</sup>ていることが<sup>おも</sup>多く、  
<sup>ちいきかつどう</sup>地域活動<sup>たいせつ</sup>を<sup>ちようないかい</sup>大切にして、<sup>れんけい</sup>町内会と<sup>じれい</sup>連携している<sup>おも</sup>事例<sup>わたし</sup>は<sup>わたし</sup>多いと思  
います。<sup>ちいき</sup>私の<sup>ちいき</sup>地域では、<sup>ふじんかい</sup>婦人会<sup>たい</sup>に対して<sup>かどうきょうしつ</sup>華道教室<sup>ひら</sup>を開いて<sup>なが</sup>もらって、<sup>つづ</sup>長く<sup>きぎょう</sup>続  
いて<sup>きぎょう</sup>います。企業  
は<sup>なに</sup>何かしら<sup>ちいき</sup>地域<sup>ひと</sup>の人に<sup>かんげん</sup>還元<sup>いしき</sup>したいという<sup>も</sup>意識<sup>おも</sup>を持つ<sup>おも</sup>ているので、<sup>れんけい</sup>連携<sup>おも</sup>も<sup>おも</sup>できる  
と思  
います。

<sup>はた いいん</sup>畑委員 <sup>いとーよーかどー</sup>イトーヨーカードーは<sup>こうれいしゃ</sup>高齢者の<sup>いえ</sup>家へ、<sup>しょうひん</sup>商品の<sup>たくはい</sup>宅配<sup>おも</sup>など<sup>おも</sup>をやっているし、  
そういった<sup>きぎょう</sup>企業の<sup>ちから</sup>力も<sup>つか</sup>使<sup>おも</sup>って<sup>おも</sup>いくべきだと思  
います。

<sup>ちねんいん</sup>知念委員 <sup>きぎょう</sup>企業に<sup>あんけーと</sup>アンケート<sup>よ</sup>する<sup>おも</sup>ことも<sup>おも</sup>良いと思  
います。

<sup>はらぶかいちよう</sup>原部会長 <sup>ばあい</sup>その<sup>かわさきくぜんく</sup>場合、<sup>たいしやう</sup>川崎区<sup>たいしやう</sup>全区<sup>たいしやう</sup>を対象とする<sup>たいしやう</sup>ので<sup>たいしやう</sup>しょうか。

<sup>いしわたいいん</sup>石渡委員 <sup>かわさきくぜんく</sup>川崎区<sup>むずか</sup>全区は<sup>おも</sup>難しい<sup>おも</sup>と思<sup>おも</sup>うので、<sup>ちく</sup>それぞれの<sup>も</sup>地区<sup>も</sup>から<sup>も</sup>モデル<sup>も</sup>的に

ちゅうしゅつ ちゅうしゅつ  
抽出していくと良いと思います。

ちねんいん ちやうないかい ちいき せんてい ひつよう おも きぎやう かわさき  
知念委員 町内会などは地域を選定する必要があると思いますが、企業は川崎  
くにあるおおききぎやう すべ もうら よ  
区にある大きな企業は全て網羅したほうが良いかもしれません。

いしわたいいん ちいきかつどう せつきよくてき きぎやう きぎやう おも  
石渡委員 地域活動に積極的な企業もあるし、そうでない企業もあると思うの  
で、代表的な事例がある企業だけで良いと思います。

はらぶかいちやう ほんじつ ぐたいてき ぎろん おも はたいいん ほう  
原部会長 本日かなり具体的な議論ができたと思うので、畑委員の方  
あんけーと ちやうさ わくぐ こうそうあん  
アンケート調査の枠組みの構想案のようなものをつくってもらえると良いと  
おも ほんじつ けつせき いん おお じかい ぶかい こうそうあん みが  
思います。本日は欠席されている委員も多いので、次回の部会で構想案を磨い  
ていくこととします。また、少し気になるのはそういった調査の場合の予算は  
だいじやうぶ  
大丈夫なのでしょうか。

じむきよく ゆうそうだいていど だいじやうぶ  
事務局 郵送代程度であれば大丈夫です。

はたいいん  
畑委員 では、アンケートのたたき台を作成したいと思います。

はらぶかいちやう ねが  
原部会長 よろしくお願ひします。

はらぶかいちやう つづ しんぎて ーま せだいかんこうりゆう そくしん ぎろん すす  
原部会長 続いて、審議テーマ2「世代間交流の促進」について議論を進めた  
いと思います。これに関しては、昨年度、大師地区で子ども育成支援団体同士  
のじやうほうこうかんかい かいさい  
情報交換会が開催されたが、それを進めていくというご意見が出たと思  
います。また、ほんじつ あらまきいん けつせき えほん よき  
本日、荒巻委員が欠席なのですが、絵本の読み聞かせなどによる  
せだいかんこうりゆう じつたいはあく そくしんさく けんとう て ーま  
世代間交流の実態把握と促進策の検討というものもあります。テーマ1でも  
いけん で くみんかいぎ すす  
ご意見が出たように、これから区民会議としてどう進めていくのかといった視  
てん ぎろん おも  
点で議論していただければと思います。

いしわたいいん せだいかんこうりゆう なか こ いくせい い せだいかんこうりゆう こ  
石渡委員 世代間交流の中に、子どもの育成を入れて、「世代間交流と子ども  
の育成」ひとつのテーマとしてほしいです。私のイメージとしては、じやうほうこうかん  
いけん かいさい よ こ  
会の開催までは良かったが、その後はどうなったのかというご意見が全体会  
で 出ました。実はその後は進展していません。そのため、こんねんとかいさい  
かんが くみんかいぎ じむきよく ねが かい あんない  
考えていますが、区民会議の事務局にお願いしたいことがあり、その会の案内

はっそう  
の発送などをしてほしいとおもいます。ぜ ひ こんねんどまつ だい かい かいさい  
です。また、へいこう ほか ちいき かいさい もくろ かんが ちいき  
してはたじまちく かんが はないん  
は田島地区を考えています。畑委員いかがでしょうか。

はたいん たじまちく こそだ さろん こそだ さーくる かつどう おこな  
畑委員 田島地区でも子育てサロンや子育てのサークルがあり、活動は行っ  
ています。

いしわたいん だい かいめ もでるてき だいしちく たじまちく おな  
石渡委員 第1回目をモデル的に大師地区でやったので、田島地区でも同じこと  
がかいさい かんが  
開催できないかと考えています。

はたいん やまだいん 民生せいいん こそだ さろん じょうほうこうかんかい  
畑委員 山田委員は民生委員で子育てサロンなどをやっているし、情報交換会  
のかいさい じゅうぶんかのう  
開催は十分可能です。

いしわたいん だいしちく ばあい さいしゅうてき じむきょく おお きょうりょく しりょう  
石渡委員 大師地区の場合は、最終的に事務局に大きな協力をいただき、資料  
などをつくってもらいました。こういっただかい けいぞく ぐみんかいぎ  
た会を継続させてこそ、区民会議の  
せいかに じっせん おも  
成果、実践になるとおもいます。

はたいん かわさきく こそだ かつどう こそだ さろん こそだ さーくる ははおや  
畑委員 川崎区の子育ての活動としては、子育てサロン、子育てサークル、母親  
くらぶ ほんぼしら せだいかんこうりゅう こそだ しえん いみあ  
クラブの3本柱があり、世代間交流といたながらも子育て支援の意味合いが  
つよ おも せだいかんこうりゅう さろん さーくる かつ かい  
強いとおもいます。世代間交流としては、サロンやサークルにどのような方が会  
いん いたっているかだとおも たと ろうじんくらぶ ひと 民生せいいん  
員になっているかだとおもいます。例えば、老人クラブの人がいたり、民生委員  
さんがいたり、がくせい はい せだい こと ひとたち はい  
学生が入っていたり、世代の異なる人達が入っていれば、それ  
はせだいかんこうりゅう おも  
は世代間交流ができているとおもいます。

あらいいん こそだ くらぶ なつやす りょう がくせい ぼらんていあ  
新井委員 子育てクラブでいうと、夏休みを利用して学生さんをボランティアと  
してよ 呼んだりしていて、子どもがとても喜んでいます。

はたいん さいきん ふじさき ほう べとなむ じんりゅうがくせい しゅうだん あぼーと か  
畑委員 最近だと、藤崎の方でベトナム人留学生が集団でアパートを借りたり  
していて、わかもの ばわー い しぜん せだいかんこうりゅう  
そういった若者のパワーを入れると自然に世代間交流になっ  
てくのではないかとおも こそだ ちゅうしん さまざま ひとびと ひ こ  
くのではないかとおもいます。子育てを中心に、様々な人々を引き込んでいく  
ことがよ できれば良いとおも  
よ  
ことができます。

あらいいん ぜろ きばん  
新井委員 ゼロから基盤をつくっていくよりも、そうやってできあがったものに  
さまざま ひと ま こ ほう せだいかんこうりゅう ちかみち  
様々な人を巻き込んでいく方が世代間交流の近道かもしれません。

ちねんいん がいこくじんりゅうがくせい ま こ よ おも  
知念委員 外国人留学生を巻き込むことは良いと思います。

はらぶかいちょう ふじさき べとなむ じんりゅうがくせい わたし し かれ にほんご  
原部会長 その藤崎のベトナム人留学生は私も知っていて、彼らは日本語もで  
きるし、しっかりしていて、彼らも日本との交流の場を求めているので、是非  
そういったコミュニティを引き込めれば、世代間交流ができると思います。

はたいいん おだ くらぶ いべんと たび きょうまちゅうがく がくせい  
畑委員 小田のまちづくりクラブでは、イベントの度に京町中学の学生さんが  
来てくれて、非常に助かっています。それは世代間交流になっていると思  
います。

ちねんいん だいさんせい さくねんど だいしちく さんか みな まんぞく  
知念委員 大賛成です。昨年度、大師地区でやって、参加しましたが、皆さん満足  
していたように思います。ぜひ田島地区でも実施していくべきだと思います。

はらぶかいちょう ぎろん さくねんどだいしちく かいさい こ いくせいしえんだんたい  
原部会長 議論をまとめると、昨年度大師地区で開催した子ども育成支援団体  
同士の情報交換会を、田島地区でも開催するということで、事務局にもご  
協力いただきながら進めていきたいとします。また、絵本の読み聞かせに  
ついては、荒巻委員が本日欠席なので、また次回議論、検討していきたいと思  
います。

はらぶかいちょう つづ しんぎて ーま がいこくじんしみん ぐ  
原部会長 続いて、審議テーマ3「外国人市民も暮らしやすいまちづくり」につ  
いて議論を進めたいとします。こちらは、外国人支援団体と連携した防災  
フォーラムの開催ということで、私の方から情報提供させていただければ  
と思います。2ヶ月後の2月に開催する防災フォーラムについて打ち合わせを  
行いました。その時に話したこととしては、外国人の方は自身の住所や避難  
場所を知らないことが多く、町会などの地域と繋がる機会も無いのが大きな  
課題であるということです。やはり言葉の壁や文化や生活習慣の違いがあり、  
なかなか日本人との繋がりが持てない状況があり、もっと日本人と触れ合  
たいと思っている外国人が多いのが実態だと思います。そのため、外国人市民  
の人にも防災に関する意識啓発が必要だということで、外国人市民向けの防災  
フォーラムを開催することにしています。既存のコミュニティに外国人を入れ  
込むのではなく、新しい外国人のコミュニティをつくり、地域との繋がりを持  
っていくということが良いと考えています。



今年の6月に開催した防災フォーラムに引き続き、開催していくことと、識字学級に見学に行ったときにはここでも防災に関する取り組みを区民会議としてできれば面白いと思えました。また、貝塚カトリック教会では、フィリピン人、ベトナム人、ペルー人などの外国人が毎週200人集まっています。その場が外国人同士の情報交換の場にもなっています。そのため、そこと連携して防災フォーラムを開催しようと計画しています。本日はチラシ案もお持ちしています。区役所の危機管理担当の方にもご協力いただき、形にはなりそうなので、識字学級の見学のように、区民会議委員の皆さんも見に来て、どういった外国人市民がいるのか見ていただければと思います。

石渡委員 チラシの言語は外国語版もつくるのでしょうか。

原部会長 カトリック貝塚教会に集まっているフィリピン人、ベトナム人、ペルー人向けの言語のものはつくりたいと考えていますが、川崎区の外国人割合でいえば中国人が最も多いので、どうしようかと考えているところです。区役所の危機管理担当も内部で企画していたので、スムーズに実現できそうです。当日の通訳などもつけることができるかもしれません。また、これを毎年繰り返し開催し、積み重ねていくことが重要だと思います。

畑委員 起震車もよく確保できたと思います。防災の取り組みに関しては、来年も再来年もどんどん続けていくことが大切だと思います。費用的な面もあまりお金をかけずに開催することも可能だと思います。唯一心配なのが天気ですが…。

原部会長 悪天候の場合の想定はまだ全くしていません…。通訳に関しても一応無料ではありませんが、ボランティア謝礼程度を考えているので、少ない予算で実施できると思います。  
外国人市民意識実態調査については、何か進捗はあったのでしょうか。

事務局 現在集計中で、年度末に報告書が完成する見込みです。進捗があり次第、御報告します。

## (2) 平成26年度区民会議フォーラム(案)について(資料5)

じむきょく しりょう せつめい  
事務局<資料5について説明>

いしわたいいん まいかいき さんかしゃすう かくだんたい さんか かんが  
石渡委員 毎回気になるのが参加者数です。各団体からの参加が考えられます  
が、<sup>さくねん</sup>昨年<sup>みんせいいいん</sup>は民生委員<sup>おお</sup>さんがかなり多く<sup>さんか</sup>参加<sup>かんが</sup>してくれてなんとか<sup>めんぼく</sup>面目<sup>たも</sup>を保ったと  
記憶<sup>きおく</sup>しています。できれば<sup>ちょうないかいれんごうかい</sup>町内会<sup>りかい</sup>連合会<sup>りかい</sup>にもご理解<sup>りかい</sup>をいただき、それぞれの  
町会<sup>ちょうかい</sup>からの参加<sup>さんか</sup>を呼びかけて<sup>よ</sup>いただければ<sup>おも</sup>と思います。

じむきょく しゅうち かん いけん さんこう さまざま だんたい こえ か  
事務局 周知<sup>しゅうち</sup>に関しては<sup>かん</sup>ご意見<sup>いけん</sup>を参考<sup>さんこう</sup>に様々<sup>さまざま</sup>な団体<sup>だんたい</sup>さんに声<sup>こえ</sup>を掛けて<sup>か</sup>いきたい  
と思<sup>おも</sup>います。

ちねんいいん きょねんさんか おも どうじ もよお ひと ぶんさん  
知念委員 去年<sup>おも</sup>参加<sup>どうじ</sup>して思<sup>もよお</sup>ったのは、同時<sup>ひと</sup>にいくつもの催<sup>ぶんさん</sup>しがあつて、人<sup>ひと</sup>が分散<sup>ぶんさん</sup>  
してしまつたようにも思<sup>おも</sup>えるし、参加<sup>さんか</sup>者<sup>しゃ</sup>目線<sup>めせん</sup>で考<sup>かんが</sup>えれば、どれもやってみた  
いの<sup>い</sup>にどれか<sup>せんたく</sup>を選<sup>せんたく</sup>択<sup>たく</sup>しなければ<sup>いけ</sup>ない状<sup>じょうきょう</sup>況<sup>きょう</sup>になつていて残念<sup>ざんねん</sup>に思<sup>おも</sup>いまし  
た。その点<sup>てん</sup>、今<sup>こん</sup>回<sup>かい</sup>の案<sup>あん</sup>では、その心配<sup>しんぱい</sup>は少<sup>すく</sup>ないと思<sup>かん</sup>じます。

じむきょく いけん さんこう  
事務局 ご意見<sup>いけん</sup>は参考<sup>さんこう</sup>にさせていただきます。

あらいいん だんたい かが さまざま かつ あつ しゅうち ほうほう  
新井委員 団体<sup>だんたい</sup>に限<sup>かぎ</sup>らず、様々<sup>さまざま</sup>な方<sup>かた</sup>に集<sup>あつ</sup>まつてもらいたい<sup>あつ</sup>です。周知<sup>しゅうち</sup>の方法<sup>ほうほう</sup>を  
工夫<sup>くふう</sup>する<sup>ひつよう</sup>必要<sup>おも</sup>があると思<sup>おも</sup>います。

はらぶかいちよう ぶかい ないよう あん よ おも すず  
原部会長 この部会<sup>ぶかい</sup>としては、内容<sup>ないよう</sup>はこの案<sup>あん</sup>で良<sup>よ</sup>いと思<sup>おも</sup>うので進<sup>すす</sup>めていただけれ  
ばと思<sup>おも</sup>います。

じむきょく しゅうち ほうほう ないよう ひ つづ けんとう おも  
事務局 周知<sup>しゅうち</sup>の方法<sup>ほうほう</sup>や内容<sup>ないよう</sup>も引<sup>ひ</sup>き続<sup>つづ</sup>き検<sup>けん</sup>討<sup>とう</sup>したいと思<sup>おも</sup>います。

### (3) 審議スケジュールについて (資料6)

じむきょく しりょう せつめい  
事務局<資料6について説明>

いいんいちどう とく いけん  
委員一同 特<sup>とく</sup>に意見<sup>いけん</sup>なし。

## 4 その他

じむきょく くみんかいぎ こうりゅうかい へいせい ねん がつ にち げつ かいさい  
事務局 区民会議<sup>くみんかいぎ</sup>の交<sup>こう</sup>流<sup>りゅう</sup>会<sup>かい</sup>について、平成<sup>へいせい</sup>27年<sup>ねん</sup>2月<sup>がつ</sup>9日<sup>にち</sup>(月<sup>げつ</sup>)に開催<sup>かいさい</sup>いたし  
ます。参加<sup>さんか</sup>確認<sup>かくにん</sup>とともに自己<sup>じ</sup>紹介<sup>しょうかい</sup>シートの記<sup>き</sup>入<sup>にゅう</sup>もよろしくお願<sup>ねが</sup>いします。

午後8時30分閉会

(以上)

がいこく しみん  
外国につながる市民と考える

ほうさい

# 防災フォーラム



1 日時 2015 年 2 月 8 日 (日)

(1) 10 時 ~ ほうさい についての おはなし ( カトリック貝塚教会 )

- じしんのびでお
- にげるときにもっていくものは?
- にげる場所は どこ?

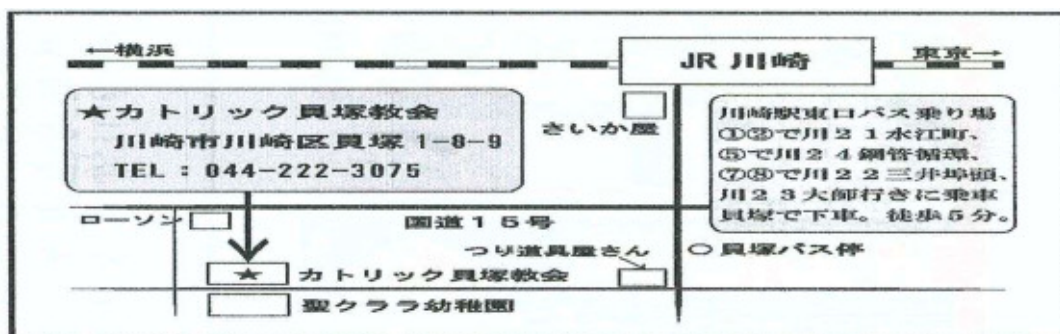


(2) 11 時 ~ ほうさい たいけん ( 貝塚公園 )

- しょうかき を つかってみよう
- かじ になると けむり が いっぱい...! (けむりたいけん)
- じしん、どのくらい ゆれるの? (じしん たいけん の くるま に のってみよう)



2 場所 カトリック貝塚教会、貝塚公園



●主催 川崎区役所、川崎区区民会議、川崎市ふれあい館

# ぼうさい たいけん コーナー

## 1 しょうかきを つかってみよう!



- ① あんぜんべん を ひきぬきます。 ②ほす を はずして、ひ に おけます。 ③ればー を つよく にぎります。
- Pull out safety pin. Draw out the hose. Squeeze the lever.

## 2 けむり たいけん

○かじ になると けむり で なにも みえなく なります。

あわてず にげられるよう けむり の たいけん を してきましょう。



- ① てんとの なか に はいります。
- ② からだ を ひくくして くち を おおいながら とおりぬけます。

☆あんぜん な けむり を つかっています。

## 3 じしん たいけん

○じしん の おおきな ゆれを たいけん できます。



- ① じしん たいけん の くるま に のります。
- ② つくえ の した に はいって あたま を まもりましょう。